

わたしがつくる みんなでつくる 住みよいまち むつ

# むつ社協 だより No.70

「社協」は(社)会福祉(協)議会の略称です。

●発行●

社会福祉法 むつ市社会福祉協議会  
〒035-0073 むつ市中央一丁目8番1号  
Tel (0175) 33-3023  
fax (0175) 23-5093  
川内支所 Tel (0175) 42-2002  
大畑支所 Tel (0175) 34-3537  
脇野沢支所 Tel (0175) 44-3550

●発行日●

平成26年 3月25日号



## 第44回むつ市福祉作文コンクール

むつ市社会福祉協議会では、二月二十三日(日)に下北文化会館において、「第四十四回むつ市福祉作文コンクール」の表彰式を行い、入賞児童及び生徒へ表彰状と記念品を授与しました。

本コンクールは、ボランティア活動をはじめとする「子どもの頃から福祉にふれられる環境づくり」の一環として、本会が毎年実施しているもので、福祉活動に伴う成長期の体験を通じて、得た思いを作文で表現することにより、福祉について、改めて考える機会を持つことを目的に実施しています。

対象である市内の小中学生からの応募数は、小学生四十二点、中学生百七十八点もの応募があり、下北国語教育研究会の審査を経て、最優秀賞五作品、優秀賞六作品、佳作十一作品が入賞となりました。

表彰式では、最優秀賞を受賞した児童・生徒による発表も行われ、子どもたちが緊張した中にも朗読する姿に会場から盛大な拍手が送られました。

また、今回も一般社団法人公済会様から、入賞者へ記念品として楯が贈られました。

○最優秀賞の部

「ボランティアって、たのしいよ」

むつ市立第一田名部小学校 一年 金子 藍

「高齢者と接して感じたこと」

むつ市立大湊中学校 一年 柏崎 瑞仁

「祖母との思い出」

むつ市立関根中学校 一年 坪 菜摘

「共に生きる」

むつ市立大湊中学校 二年 二本柳 萌

「お年寄りから学んだ事」

むつ市立近川中学校 二年 濱中 真央

○優秀賞の部

「大せつなトイレ」

むつ市立立苦生小学校 一年 川西 笑未

「おばあちゃんのために出来ること」

むつ市立脇野沢小学校 五年 祐川 花菜

「笑顔の力」

むつ市立大湊中学校 一年 白取 一登

「平等な世界へ」

むつ市立むつ中学校 一年 武田 亜幸

「たった一言で」

むつ市立関根中学校 一年 野邊地璃々

「音でつなぐ心」

むつ市立大畑中学校 一年 石橋みゆり

○佳作の部

「車イスにかわるプルタブ」

むつ市立第二田名部小学校 二年 竹林 琉那

「私のしよ来の夢」

むつ市立立苦生小学校 四年 大林 優沙

「安心して生活するには」

むつ市立第三田名部小学校 五年 長谷川和輝

「ありがとう」

むつ市立関根小学校 六年 駄賃場穂南

「ボランティア」

むつ市立大湊中学校 一年 武田 晴海

「今できること」

むつ市立大湊中学校 一年 藤原 紬

「自分達の海をきれいに」

むつ市立近川中学校 一年 立花 桃香

「福祉」

むつ市立大湊中学校 二年 木村 結衣

「盲目」

むつ市立大湊中学校 二年 下山 詩織

「身近な人から」

むつ市立大畑中学校 二年 片山 瑞貴

「ひいおばあちゃんありがとう」

むつ市立脇野沢中学校 二年 北村しおり

※ 全入賞作品は、本会ホームページに掲載しておりますので是非御覧ください。



## 最優秀賞

## ボランティアって、たのしいよ



むつ市立第一田名部小学校

一年 金子 藍

私はボランティアがだいすきです。

はじめてボランティアをしたのは保育えんの時で、早かけこうえんのゴミひろいをしました。ゴミは少なかったです。

去年の七月には、じょうがさわ海水よくじょうに行つて、ボランティアをしました。海水よくに来た人が、ケガをしないようにゴミあつめをしました。

あきかんやペットボトルがいっぱいおちていて、びっくりしました。

大変でしたが、ゴミひろいのあと、みんながジュースをのみ、えんそくのようにでした。

私がボランティアをはじめたのは、おじさんにさそわれたからです。

おじさんは、ボランティアの会のやくいんで、ゴミひろいのほかに、いろいろなことをしています。

困った人やお年よりを助けるために、いつも走りまわっています。

おじさんは月にいちど、みちのくそうに行つて、本をよむボランティアもしています。

その時に私もいっしょに行つて、お年よりのために本をよんでいます。

行く前の日は、何回も何回もよんで、れんしゅうします。

お年よりは耳のわるい人が多いので、大きな声で、ゆっくりよみます。

大きな声なので、みちのくそうで、はたらいにいる人も、たちどまって聞いています。

おじさんと、かわるがわる本をよんで、どっちの方に、たくさん拍手をもらえるか、きょうそうしました。

おじさんは「ももたろう」をよみました。私は「うらしまたろう」と「したきりスズメ」をよみました。

なぜその本をよんだかというところ、お年よりの人が、みんな知っている昔話だからです。

おじさんも、いろいろ工夫しましたが、わたしもいろいろ工夫しました。

それは、お年よりの人は耳がとおい人が多いので、大きな声で、ゆっくり、はつきり、よむことです。

お年よりの中に、元わきの沢小学校の先生だった人がいました。

「本場にじょうずだったね。」と、ほめてくれました。

よみおわつて、おじさんへはくしゅした

人は、一人だけで、私にはくしゅしてくれたい人は、八人でした。

どっちにも、はくしゅしない人が、三人くらいいました。

お年よりの人がみんな、私の頭をなでてくれました。

かえりの車の中で、おじさんは、くやしそうなかおをしていました。私はとてもうれしかったです。

みちのくそうへは、まいつき、第二土曜日のごごに、行くやくそくですが、つきからは、かみしばいをするつもりです。

童話の本は絵が小さく、お年よりにはよく見えないからです。

私がよむ時おじさんが絵をめくり、おじさんがよむ時は、私が絵をめくるつもりです。

今はみちのくそうだけで、本をよんでいます。べつのはせつでも、本をよんであげたいと思っています。

ゴミひろいをする時、きれいになって、きもちが良いし、心がゆたかになります。

本よみは、みんながほめてくれて、よろこんでくれます。

これからも、お年よりや、こまっている人に、いろいろなボランティアをしたいと思っています。

友だちもさそつて、いろんな所で、いっしょにボランティアできたらいいなあと思っています。



## 高齢者と接して感じたこと



むつ市立大湊中学校

一年 柏崎 瑞仁

昨年、授業の一貫として職場体験学習がありました。ぼくは、自宅の近所であり、小さいころから知っている特別養護老人ホーム桜木園で体験学習を行いました。桜木園には、曾祖母が入所していたため小さいころ祖母に手をひかれ何度か行った記憶がうつつらとありました。小さかったころには感じることも考えこともなかったことに気づき学ぶことができました。

桜木園では、はじめに施設についての説明がありました。入所しているのは、六十五歳以上の高齢者で介護が必要なため入所し、施設の方に援助してもらいながら食事を食べたり、入浴したり、生活をしているとのことでした。食事の介助をする時には、食事の内容を説明したり、食べる速さに合わせて介助することや、次に何が食べたいかを聞きながら介助することが大切であるということを知りました。また、食事の形状は利用者の方によって異なっていました。

た。固形、半固形や形の無い物は流動食といい、かむ力や飲み込む力が弱くても容易に食べることが出来るように工夫されていました。ぼくは普段、当たり前のように両手を使い、食べたいものを食べたいタイミングで口へ運んでいます。また汗をかいた後は自分で服を脱ぎ、汚れたところをゴシゴシと洗うことができます。しかし、それは健康だからできることなのだと感じる事ができました。

レクリエーションでは、粘土遊びもしました。ぼくは粘土や工作が得意なので、入所者のリクエストに応え、犬や鏡もちなどを作りました。作り終わると拍手をくれました。しかし、一人だけ悲しそうに泣いている方がいました。ぼくは、その方に近づき話を聞きました。「私も若いときは器用でいろいろできたの：今はできなくなっちゃった。」と。ぼくは、なんだか申し訳ないような気持ちになり、今度はその方と一緒に犬を作りました。ぼくにはまだわかりませんが、高齢になり、自分の思うように話せなかったり、体を動かせないということはとてもつらいことだと思います。

桜木園の職員の方は、介護福祉士や看護師、管理栄養士、作業療法士などの資格を持つています。ぼくは、はじめて知っ

た資格もあり、どんなことをする職業なのかわかりませんでした。職場体験が終わってから、調べてみました。介護福祉士は、日常生活を営むのに支障がある人につき身の状況に応じた介護を行うことを業とする人のことをいいます。作業療法士は、諸機能の回復・維持および開発を促す作業活動を用いて行う治療・指導・援助を行う人のことをいいます。それぞれが自分の専門知識を発揮して、入所者の方たちが安全に、快適に過ごせるように援助しているのだということがとてもよく分かりました。

しかし、現在青森県全体で、特別養護老人施設への入所を希望している待機者は三百十二人もいます。ぼくの身近にも高齢者はたくさんいます。ぼくの曾祖母は八十三歳になります。専門的な知識はないけれども、施設に入所できない、または入所してない高齢者の方に周りの人達が優しく接してあげることが高齢者が安全、安心して暮らすことができると思います。また、自分が高齢者になったときに安心して暮らせる社会になつていように今から少しずつできることをしていきたいと思っています。

## 祖母との思い出



むつ市立蘭根中学校

一年 坪

菜摘

私の祖母は認知症です。それは私が生まれる前からでした。しかし、前は今ほどひどくはなく、家事などもある程度できていて、私と遊んでくれたりもしました。野球をしたり、祖母の畑仕事を手伝って一緒にじゃがいもを掘ったりしていました。

でも、私はそんな祖母のことが学年があるにつれ嫌いになっていきました。理由は、祖母が他の家のおばあちゃんたちからです。小学校に入り、友達になった子の家へ遊びに行くと、どの家のおばあちゃんもとてもしっかりしています。ドーナツや天ぷらなどを作って振る舞ってくれるおばあちゃんもいました。けれど私の祖母はそんなことはせずに、何もしないでただソファに座ってテレビを見ているだけでした。母が家にいない時は祖父がご飯を作ってくれて、祖母は何もしていませんでした。最初は、「うちのおばあちゃんとは他の家のおばあちゃんと少しちがうだけだから。」と思って、今まで通り祖母と接していました。でも、そんな私の考えを変える事件が

起きました。

祖母が家から一人でいなくなってしまうのです。そのころは、もう祖母は老人ホームに帰っていて、朝にホームへ行き、夕方に帰って来るというリズムで、段々と認知症は回復してきているように見えました。そんな時に起きたこの事件は誰にも予想することができませんでした。それは、深夜皆が寝ている時に起きました。祖母が家を出て暗闇の中、何キロもはなれた早掛の昔死んだ親戚のおじいちゃんの家まで歩いていったのです。そのとき私は寝ていたのでよく分かりませんが、パトカーがたくさん来ていたそうです。祖母は無事見つかりましたが、私はそれ以来祖母の存在が嫌で恥ずかしいと思ってしまうようになりました。

あの事件があつてから、もう祖母がこっそり逃げないように家には常に鍵がかかっている状態になってしまいました。「他の家はこうじゃないのにどうしてうちだけ？」そんな思いが私の中から祖母をいなく存在にしてみました。

ちようどそのころ、祖母は老人ホームに通うのではなく、入所することになりました。前のように日帰りではなく、ずっと施設に預けるということです。私は嫌いだっただ祖母が家からいなくなることへ嬉しさを感ずる反面、不思議なことになくなってしまふことへのさびしさも感じていまし

た。

祖母が老人ホームにいつてしまつてから、たまに様子を見に行くと、祖母はもう昔のような元気はなくなつており、私のことも段々忘れていつていました。

「嫌い」と思っていたはずなのに、私は小さいころの思い出を聞かれば必ず、祖母と遊んだり、散歩したりしたことを思い出します。私はいつかもう一度祖母とそんなことができたいなと思うようになっていました。でも、正月に祖母が帰つて来たとき、それは不可能だということを知りました。前までは少しだけでしたが、私のことを覚えていてくれたのに、もう、今では家族の中では祖父のことしか覚えていませんでした。私はすごく悲しい気持ちになりました。

私は今になって後悔しています。祖母を嫌いなんて思ったことを。でも、そんなことを今さら思つても仕方ありません。だから昔のように一緒に笑いあえるように、祖母との思い出を少しでも取り戻せるように、これからは祖母との時間を過ごしていきたいと思つています。そして後悔することのないよう、自分の祖母だけでなく、老人の方や障がい者の方たちに優しくなれるよう、祖母が教えてくれたことを大切に、自分自身を変えていきたいです。

## 共に生きる

むつ市立大湊中学校

二年 二本柳 萌

福祉について考えた時、一番最初に頭にうかんだのは、「障害者」という言葉でした。私が初めて「障害者」に会ったのは幼稚園のころです。同じクラスにダウン症の子がいました。その子がダウン症だということとは、知っていましたが、ダウン症がどうゆう障害なのかということとは、全く知りませんでした。

小学校一年生になって、私は、ダウン症の子が主人公の映画をみました。それがきっかけで、ダウン症について調べました。ダウン症とは、染色体異常症の一つで、二十三対（四十六本）ある染色体のうち、二十一番目の染色体が通常よりも一本多いことからなる、障害です。特徴としては、小頭症、低身長などがありました。でも、その特徴は大人になってみないと、正直わかりません。子どものころは頭が小さい子も、身長が低い子もたくさんいます。なので子どもときは何も不思議に思ったことはありませんでした。でも、一緒に成長していく中で、なんとなくそのことが、理解

できるようになりました。言葉がうまく話せないことにも気づきました。

そして、いろいろなことも理解できるようになると、周りの人たちをみる目も変わりました。目が悪い人や足が悪い人がいると、気になってしまいます。小さいころは、目が悪い人が使う道路の点字ブロックなどを、ふんで遊んでいました。中学生になった今は、何のためのブロックか分かっているの、ふまないようにしています。

こうゆうことに気をつけるようになったのは、町などで「障害者」を見ると、「大変だろうな。」と思っていたからです。でも、そう思うのは、不自由な部分しか見えていなかっただけだと気づきました。よく考えると、ダウン症の子は、いつも笑顔で人気者でした。障害があっても、元気で明るい楽しい毎日を暮らしている人はたくさんいると思います。

そのことに気がつき私は、障害というのは一つの個性としてとらえていいのではないかと考えました。不自由なこととはたくさんあるかもしれないが、障害があるだけであって、障害がない人と同じただの人間です。だれにでも、得意なことや、苦手なこととはあります。その一つ一つが、その人の個性だと思えるようになりました。

「障害がない人と同じただの人間」と言っているじてんで、悪い言い方をすると自分の中で、「障害者」というのを、差別していたのかもしれない。

福祉の意味は、「人々が満足するような生活上の環境」だそうです障害があるのに限らず、生活していく上で、お互いの助け合いはとても必要です。自分が得意なこととは人のために生かし、自分が苦手なことは人の力をかり、協力して生きていくことが大切です。

障害をもっていない人が、「障害者」にできることは、気を使うことでも、「障害者」のためだけの何かを作ることでもないと思います。

一人一人が楽しく、障害なんて気にせず生きていく環境を一緒につくっていくことが、これからできることだと思えました。





## お年寄りから学んだ事



むつ市立近川中学校

二年 濱中 真央

私たちの中学校では、老人ホームに行きお年寄りと触れ合う行事がある。今年もそれに参加した。私はどちらかというとお年寄りとは触れ合うのは嫌いだ。なぜかという、話を通じ合わなかったり、いつ話が終わるのか分からないくらい話が長かったりするからだ。

今年も去年と同じようにお年寄りの前で歌を歌ったり肩たたきをしたりした。もちろん触れ合いコーナーもある。同じことをやっていたら、今年も触れ合いコーナーでは、お年寄りとは触れ合っていたことがあった。去年はまだ一年生で緊張していたから気付かなかったが、今年はいろいろと気付いたし、たくさん感じた。

一人目の方は、私が少し緊張していても話せず焦っていたのにもかかわらず、私に明るく、そして優しく声をかけてくれた。そこで私は、本当に助かったと思ったし、

なんだか分からないけれど「ありがたいなあ。」とも思えた。

次に出会った人には手を握ることを求められたので手を握らせてあげた。ふと手を見て、自分の手とその人の手を比べてしまった。すると、色も違うし、シワの数も違うし、大きさも違った。私は人間の体の中で手が一番寿命を感じると思った。そして私とその人では全然生きてきた時間も違うのだなあと思ったし、その人と比べると私はまだまだ幼いなあとも思えた。

その後、私は友達と二人で何人かお年寄りが集まっている所に行った。するとその人は、楽しそうに話し始めた。

「おめんど、めんこいなあ。」とか、

「どこさ、住んでるのさ。」

とか楽しそうに話すので、こっちも楽しくなってきた。そう思っていたら、突然お年寄りの一人が涙を流し始めた。私達はどうだった。友達は、

「泣かないで下さい。」

と言った。するとお年寄りは何も言わず、私達に優しく手を伸ばしてきた。私はこれしか何もすることができなかった。私はその人の膝に優しく手をおいてあげた。私はその時点では深く考えなかったが、学校に

戻った時に考えた。お年寄りにとって、私達子供は、生きがいなんじゃないのかなあ。

今回の触れ合いコーナーでは、お年寄りの方々からたくさんのお話を学んだ。お年寄りが私達を見て涙を流したり、手を握ったりするのは私達をまるで自分の生きがいであるかのように大事にしているからなのではないかと思う。だから、私達若者も、お年寄りを大事にし、尊敬すべきなのだ。今の私には、お年寄りがとても身近に感じられる。



## 社会福祉法人むつ市社会福祉協議会の賛助会員(普通会員)の皆様

むつ市社会福祉協議会では、少子・高齢化社会への対応と地域福祉・在宅福祉活動の推進のため、各種事業を積極的に行っております。

各種事業の実施には、「市民の皆様(毎戸)、法人等(企業や商店)、各医療機関、各福祉団体及び個人の皆様からいただいた会費、善意あふれる寄付金、赤い羽根共同募金配分金、行政からの補助金など」を活用しております。

今後とも、御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、個人会員の皆様につきましては、プライバシーの観点から掲載を差し控えさせていただきました。

### 【あ行】

- ・青い森信用金庫下北営業部 様
- ・(株)あうら 様
- ◎(株)青森イベントサービス 様
- ◎(株)青森クリーン 様
- ・あおぎんリース(株) 様
- ・(株)青森銀行むつ支店 様
- ・(株)青森銀行大畑出張所 様
- ・青森県信用組合むつ営業部 様
- ・青森トヨタ自動車(株)むつ店 様
- ・青森トヨペット(株)むつ店 様
- ・青森三菱自動車販売(株)むつ店 様
- ◎青森ヤクルト販売(株)むつ営業所 様
- ・上路電器 様
- ・特定非営利活動法人アックス工房 様
- ・あんしんSafety保険(株) 様
- ・公認会計士・税理士  
石下雄三事務所 様
- ・磯沼建設(株) 様
- ・いわ 葬 様
- ・岩渕米穀店 様
- ・兔沢町内会 様
- ◎宇田町みらく会 様
- ・(株)エステティック下北自動車学校 様
- ・円融堂治療院 様
- ・(株)エービッツ 様
- ・エスエス保険サービス 様
- ・海老川町青葉会 様
- ◎(有)蛸名商店 様
- ◎(株)エーワン保険サービス 様
- ・(株)エンジェルス 様
- ・割烹王将 様
- ・(有)大滝地建 様
- ・(有)小田桐石材 様
- ◎大畑地区観光協会 様
- ・大畑町町内会連合会 様
- ◎大畑町手をつなぐ親の会 様
- ◎大畑町商工会 様
- ・地域密着型介護老人福祉施設  
おおみなと園 様
- ・(有)大湊ベーカリー 様
- ・大湊新町明生会 様
- ・大湊浜町みつば会 様
- ・お菓子工房やなぎや 様
- ・お菓子工房すいと・맘 様
- ◎小川学習教材社 様
- ・(有)おたふく 様
- ・小野胃腸科内科医院 様
- ・(有)菊池燃料店 様
- ・医療法人白心会北村医院 様
- ・(株)木村鉄工所 様
- ・(有)キューマックスダスキンむつ 様
- ・(株)協栄石油 様
- ・協同印刷工業(株) 様
- ・ギフトショップタカギ 様
- ・(株)工藤電業社 様
- ・(株)熊谷建設工業 様
- ◎居酒屋くるまざ 様
- ・(株)ケアライフ青森むつ営業所 様
- ・(株)ケアライフ青森大畑営業所 様
- ・特別養護老人ホーム恵光園 様
- ・一般社団法人公済会 様
- ・障害福祉サービス  
事業所工房「歩み」 様
- ・コマツ建機販売(株)  
東北カンパニー 様
- ・小川町青葉会 様
- 【さ行】
- ・齊藤工建 様
- ・(株)齊藤産業むつカラオケパラダイス 様
- ・特別養護老人ホーム桜木園 様
- ・(有)酒のはやし 様
- ・(株)佐藤石油商会  
大畑バイパスSS 様
- ・(有)佐藤政商店 様
- ・社会福祉法人三恵会 様
- ・三章堂印房 様
- ・(有)システム平野 様
- ・下北環境保全(株) 様



## ◎ジブラルタ生命保険(株)

青森エリアむつ支部 様

- ・下北交通(株) 様
- ・(有)下北測量 様
- ・下北地方森林組合 様
- ・(有)下斗米板金工業所 様
- ・(有)下北名産センター 様
- ・下北物語 様
- ・食事処なか川 様
- ・食堂ぼわ〜る亭 様
- ・常念寺 様
- ・常楽寺 様
- ・障害者支援施設しもきた療育園 様
- ・老人保健施設

シルバーケアセンターむつ 様

- ・(株)シルバーサービス 様
- ・(有)蛇穴書店 様
- ・(有)眞心堂 様
- ◎新町でんき 様
- ・(有)スケカワ 様
- ・杉山建設工業(株) 様
- ・鈴木新聞店 様
- ・鮎八 様
- ・スーパーさとちょう新町店 様
- ・知的障害者更生施設すまいる 様
- ・青少年育成むつ市民会議 様
- ・(株)セイホク 様
- ・(有)関乃井酒造 様
- ・(有)関商店 様
- ・特別養護老人ホームせせらぎ荘 様

## 【た行】

- ・(有)太陽設備工業 様
- ◎高瀬歯科医院 様
- ◎(株)高橋教材 様
- ・(株)高橋産業 様
- ・高橋自動車整備工場 様
- ・高橋時計店 様
- ・(株)タックスむつ 様
- ・(有)田中造花店 様
- ・田名部クリーニング 様
- ・田名部神社 様

- ・谷川環境衛生開発(株) 様
- ・谷川設備工業(株) 様
- ・医療法人顕仁会田村胃腸科内科 様
- ・大覚院熊野神社 様
- ・医療法人芳龍会千田医院 様
- ・(株)テクノ十和田支店むつ営業所 様

## ◎(有)東奥砕石 様

- ・(有)東陽建設 様
- ・(株)東京堂 様
- ・東北電力(株)むつ営業所 様
- ◎(株)トーテック 様
- ・(株)となみ 様
- ・障害者支援施設となみ療護園 様
- ・斗南養鶏 様

## 【な行】

- ・中島自動車整備工場 様
- ・中村眼科クリニック 様
- ・中村保険事務所 様
- ・(株)中浜トヨー住器 様
- ・波岡歯科医院 様
- ・(株)なりたカメラ 様
- ・(有)成田工務店 様
- ・二北印刷所 様
- ・庭田茶店 様
- ・(有)野沢新聞店 様
- ・野村建設(株) 様

## 【は行】

- ・(株)橋本機械店 様
- ・(株)橋本建設工業 様
- ・(有)はしだてレンタカー 様
- ・(有)花とも 様
- ・障害福祉施設
- ハートランドさくら 様
- ・(有)畑末部品商会 様
- ・(株)はねや 様
- ・(株)浜中土木 様
- ・はまなすホンダ 様
- ・(有)八戸屋 様
- ◎バンドーウエルフェアグループ(株) 様
- ・(有)日の出建設 様

- ・ファミリーショップおりだて 様
- ・(有)ファミリーマートさとう 様
- ・(株)福原石油店 様
- ・ふじい塗装店 様
- ・(有)藤田石油 様

## ◎(株)フジタ不動産 様

- ・プラザホテルむつ 様
- ・(有)北栄電工 様
- ◎北新機材(株) 様
- ・ホテルニュー薬研 様

## 【ま行】

- ・(株)シティ松木屋 様
- ・(株)マエダ 様
- ・槇皮膚科医院 様
- ・増田钣金塗装工場 様
- ◎マツノホーム(有) 様
- ・ギフトインテリア丸山店 様
- ・(株)三浦商店 様
- ・医療法人章士会三上医院 様
- ・(株)みちのく銀行むつ支店 様
- ・緑町青葉会 様
- ・(有)ミナト家具サロン 様
- ・(有)みなみや海産物 様
- ・(有)みなみやカメラ店 様
- ・三八五観光(株)むつ支店 様
- ・むつグランドホテル 様
- ・むつグリーンホテル 様
- ・むつ市川内町商工会 様
- ・公益社団法人
- むつ市シルバー人材センター 様
- ◎むつ市身体障害者福祉協会 様
- ・むつ市身体障害者福祉協会
- 脇野沢支部 様
- ・むつ市田名部南地区民生委員
- 児童委員協議会 様
- ・むつ市大湊地区民生委員
- 児童委員協議会 様
- ・むつ市田名部北地区民生委員
- 児童委員協議会 様
- ◎むつ市川内地区民生委員
- 児童委員協議会 様

- ◎むつ市大畑地区民生委員  
児童委員協議会 様
- ◎むつ市脇野沢地区民生委員  
児童委員協議会 様
- ・むつ市大畑地区民生委員  
児童委員協議会OB一同 様
- ◎むつ市母子寡婦福祉会 様
- ◎むつ市大畑地区母子寡婦福祉会 様
- ・むつ市脇野沢地区  
母子寡婦福祉会 様
- ◎むつ市大畑分区赤十字奉仕団 様
- ・むつ市生活介護サポーター  
連絡協議会 様
- ・むつ市連合婦人会 様
- ・むつ市旅客自動車事業協同組合 様
- ・むつ市老人クラブ連合会 様

- ・むつ市老人クラブ連合会むつ支部 様
- ・むつ市老人クラブ連合会川内支部 様
- ・むつ市老人クラブ連合会大畑支部 様
- ・むつ市老人クラブ連合会脇野沢支部 様
- ・(有)むつ車体工業 様
- ◎むつタクシー 様
- ・(株)むつ不動産取引センター 様
- ・むつリハビリテーション病院 様
- ・(株)村井商店 様

【や行】

- ・柳町高砂の会 様
- ・山内土木(株) 様
- ・やまざき製菓 様
- ・障害者支援施設陽幸園 様
- ・横迎町青葉会 様

- ・(株)吉田産業 様
- ・吉田商店 様
- ◎吉田板金加工所 様
- ・(有)吉田ベーカリー本店 様
- ・(株)吉田メリヤス 様

【ら行】

- ・リサイクル燃料貯蔵(株) 様
- ・龍本寺 様

【わ行】

- ・脇野沢手をつなぐ親の会 様
- ・渡邊歯科医院 様
- ◎(有)渡邊利太郎商店 様
- ◎和風レストランあんべ 様

※平成25年度の賛助会費（普通会費）を納入済みの会員の皆様を掲載させていただきました。  
 なお、◎は平成25年4月1日以降、新たに会員となられた皆様です。

「本会では、無料で「車椅子貸出事業」を実施しており、貸出用として、各小中学校での「福祉体験学習」の体験用などに大切に活用させていただきます。ありがとうございます。」

「贈呈式には、児童会の代表として三名の児童が出席し、「むつ市の身体が不自由な方々に役立ててください。今後も収集に取り組みたい。」と、ボランティア活動への意欲を見せてくれました。」

「寄贈を受けた車椅子は、児童会活動の一環として、全校児童へ空き缶のプルタブ収集を呼びかけ、一年をかけた集めたものを車椅子に換金したもので、毎年、本会へ寄贈いただいております。」

「二月二十八日に、第二田名部小学校児童会から、むつ市社会福祉協議会へ車椅子一台の寄贈がありました。」

**車椅子を寄贈  
いただきました**

**第二田名部小学校児童会**




## 平成26年度むつ市社会福祉協議会主な行事予定表

名 称	開 催 日	会 場	対象者／料金
ふれあい事業お花見会(川内地区)	5月上旬		65歳以上ひとり暮らし
ほのぼの昼食会(むつ地区)	5月下旬		65歳以上ひとり暮らし／無料
在宅介護者のつどい	6月上旬		在宅で高齢者を介護している方
ふれあいウォーキング大会	6月下旬		中学生以下300円・高校生以上500円
ほのぼの昼食会(川内地区)	7月上旬		65歳以上ひとり暮らし／無料
ほのぼの昼食会(大畑地区)	7月上旬		65歳以上ひとり暮らし／無料
ほのぼの昼食会(脇野沢地区)	7月上旬		65歳以上ひとり暮らし／無料
ふれあいバスの旅	7月中旬		65歳以上ひとり暮らし／1,000円
ほのぼの料理教室	7月下旬	下北文化会館	小学生・65歳以上男性／無料
バリアフリーおしまこ流し踊り	8月18日(月)		障がい者・ボランティア／無料
第34回ほほえみのつどい	9月下旬		障がい者・ボランティア／無料
ほのぼの昼食会(むつ地区)	9月下旬		65歳以上ひとり暮らし／無料
ほのぼの交流協力員事業(大畑地区)	9月下旬		障がい児・保護者・ボランティア／無料
ふれあい福祉展	10月4・5日	下北文化会館	福祉施設や福祉団体が展示・販売
在宅介護者のつどい	10月上旬		在宅で高齢者を介護している方
ほのぼの昼食会(川内地区)	10月上旬		65歳以上ひとり暮らし／無料
ほのぼの昼食会(大畑地区)	10月上旬		65歳以上ひとり暮らし／無料
ほのぼの昼食会(脇野沢地区)	10月上旬		65歳以上ひとり暮らし／無料
ふれあいバスの旅(川内・脇野沢地区)	10月下旬		65歳以上ひとり暮らし／1,000円
ふれあいバスの旅(大畑地区)	10月下旬		65歳以上ひとり暮らし／1,000円
第54回むつ市社会福祉大会	11月上旬		被表彰者・関係者・むつ市民／無料
ふれあいバスの旅	11月下旬		65歳以上ひとり暮らし／1,000円
地域福祉懇談会(むつ地区)	11月下旬~12月上旬	13会場	むつ市民／無料
地域福祉懇談会(川内地区)	12月中旬	川内庁舎	むつ市民／無料
ふれあいクリスマス会	12月21日(日)		障がい者・ボランティア／1,000円
世代間ふれあい交流会	12月下旬	総合福祉センター	高校生・高齢者／無料
ほのぼの料理教室	1月上旬	下北文化会館	小学生・65歳以上男性／無料
地域福祉懇談会(大畑地区)	1月中旬	総合福祉センター	むつ市民／無料
ほのぼの研修会(大畑地区)	1月中旬	総合福祉センター	ほのぼの協力員／無料
在宅介護者のつどい	1月下旬		在宅で高齢者を介護している方
地域福祉懇談会(脇野沢地区)	2月中旬	脇野沢公民館	むつ市民／無料
第45回むつ市福祉作文コンクール表彰式	2月下旬	下北文化会館	被表彰者・関係者・むつ市民／無料
むつ市災害ボランティア研修会	3月中旬		むつ市民／無料
心配ごと・結婚相談所	毎週月・水・金	社協内相談所	むつ市民／無料
ふれあい福祉バザール	毎月第4火曜日	マエダ本店	福祉施設や福祉団体が展示・販売
巡回入浴(大畑地区)	第1~4月曜日	老人福祉センター	大畑地区70歳以上
いきいき交流会(脇野沢地区)	第2・4水曜日	脇野沢公民館	65歳以上介護保険サービスを利用していない方／400円
ふれあい昼食会(脇野沢地区)	奇数月第3水曜日	脇野沢公民館	65歳以上ひとり暮らし／400円



## むつ市社会福祉協議会会員への御加入に御協力をお願いいたします。

むつ市社会福祉協議会（以下「社協」といいます。）は、地域の皆様に支えられた民間の福祉団体です。社協の事業を進めるための財源は、会員会費、寄付金、共同募金の配分金のほかに、青森県社会福祉協議会、青森県及び市からの補助金、助成金及び受託金により賄われています。

社協は、営利を目的としていないため、事業を維持・発展させるための資金を集めることが大きな課題となっています。

このうち会員会費と寄付金は、社協が民間福祉の推進機関として、自立的な活動を展開するための重要な資金となっています。

社協の活動を御理解いただき、ひとりでも多くの皆様の社協会員への御協力をお願いいたします。

### ◇ 会員の種類 ◇

区 分	対 象	年 会 費
正 会 員	本会の理事・監事・評議員及び職員	3,000円
普通会員	むつ市に住所を有する世帯／町内会等の市民組織団体、福祉関係組織及び団体	1,000円から
賛助会員	社会福祉に関心を有し、本会の目的に賛同する一般個人又は法人団体等	3,000円から

### ◇ 入会方法 ◇

会員に御加入いただける場合は、入会申込書に必要事項を御記入いただき、来所又は郵送によりお知らせください。事務局から会費納入方法等について御案内させていただきます。

## 福祉への心温かい、御寄付ありがとうございました。

皆様からいただいた寄付金は、各種の地域福祉事業に活用しております。

匿 名 …………… 50,000円  
 海上自衛隊大湊地区所在部隊隊員一同 様 …… 30,600円  
 隊友会下北支部 様 …………… 30,000円  
 ボランティアむつの会 様 …………… 10,000円  
 むつろうあ協会 様 …………… 3,210円  
 大畑ロータリークラブ 様 …………… 20,000円  
 匿 名 …………… 13,455円  
 龍 本 寺 …………… 36,000円  
 むつフレンドリークラブ 様 …………… 30,000円  
 清澤寺除夜鐘の会 様 …………… 17,670円  
 むつ脇野沢ライオンズクラブ 様 …………… 25,000円  
 むつみらいライオンズクラブ 様 …………… 50,000円  
 大湊カトリック幼稚園 様 …………… 13,850円  
 みちのくココ・コーラボトリング(株)  
 むつ営業所 様 …………… 4,369円

青森ヤクルト販売(株)むつ営業所 様 …… 9,805円  
 匿 名 …………… 2,000円  
 むつ市大畑地区連合婦人会  
 設立60周年記念芸能発表会益金 …… 30,000円

### 主な物品寄付

(株)中浜トーヨー住器 様  
 …………… 住宅用火災報知器20個  
 むつ市立第二田名部小学校児童会 様  
 …………… 車椅子1台  
 匿 名 …………… 季節の野菜等

平成25年12月12日から平成26年 3月13日まで